



2019
5/12 (日)
 15:00 開演

〈料金〉※全席自由
 一般…………… 3,000円
 PLA's 会員 …… 2,800円
 高校生以下 …… 1,500円
 (当日券は 200 円増)

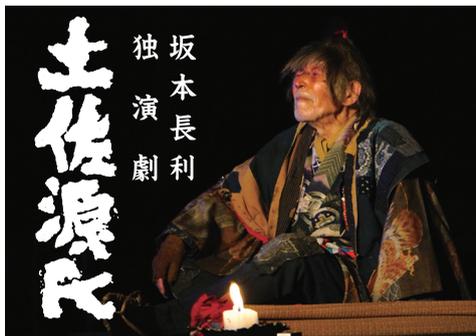
〈会場〉川西町フレンドリープラザ・ロビー



2019
5/10 (金)
 19:00 開演

〈料金〉※全席自由
 一般…………… 1,500円
 PLA's 会員 …… 1,000円
 青少年席(U18) … 500円

〈会場〉川西町フレンドリープラザ・ロビー



2019
6/23 (日)
 15:00 開演

〈料金〉※全席自由
 一般…………… 4,000円
 PLA's 会員 …… 3,500円
 高校生以下 …… 2,000円
 (当日券は 500 円増)

〈会場〉川西町フレンドリープラザ・ホール



2019
7/28 (日)
 13:00 開演
 17:00 開演
 ※2 回公演

〈料金〉※全席自由
 一般…………… 2,800円
 PLA's 会員 …… 2,500円
 (当日券は 500 円増)

〈会場〉川西町フレンドリープラザ・ホール

編集後記

「今のうち、どんどん書いておきなさい。今しか書けないことがある。」と教えてくれたのは、フレンドリープラザの開館当時の竹田館長だ。図書館のカウンターに座っていると、館長がいろいろな言葉をかけてくれた。

素直な二十代だった私は、そういうものかと思つて、プラザの会報「プラス」をはじめ、図書館の広報誌「子どもと本」のエッセイ集、仲間とはじめたミニコミ誌などに拙いことばで書くようになった。書くことで考え、井上蔵書を読み、人に伝えることばの選び方や難しさを学んだ。

編集講座の小田先生は「書くこと」はとつても恥ずかしい」と言っていたけれど、今読んでみても顔から火が出るほど恥ずかしい文ばかりだ。この広報誌に「ブルーハーツと図書館と青春と。」なんてエッセイを書けたのは、やっぱり二十代の私だから。

過去に書いた文を読むことで、当時の自分の想いや関わりあった人を思い出す。それは、「過去の自分」が、「現在の自分」を応援し、未来へ背中を押してくれることもある。

プラザという大きな出会いの広場で、今後どんな人と出会うのか、自分はどんな気持ちでいたのか、その時にしか書けないことをこれから書き綴っておこう。(あらさわ)